

関千鶴子 議員



関 保育園運営に対する基本的な考え方は

町長 次代を担う子供たちの育成支援は町の責務

度や老朽度の調査を踏まえ、時間をかけて町民の声を聞いて判断していきます。
あゆかい保育園は、当面現在の施設を補修・修繕して利用していきます。

■議決の重みは尊重

関 3月議会で「子育て支援拠点施設」を建設するため、福祉用地の取得を議決しました。議決に基づき行政が執行することをどのように認識しますか。

町長 議会の議決の重みは尊重すべきと思います。しかし方針が変わることもあり得ると思うので、変更の手続きなどは今までの経過を十分に踏まえ、あらためて対応していきます。



すこやかな成長を願って（あそび広場）

る方への支援として、あそび広場の常設や常時利用できるスペースが必要だと思いますがいかがですか。

■健康福祉センターを拠点として

関 在宅で子育てをしていく方への支援として、あそび広場の常設や常時利用できるスペースが必要だと思いますがいかがですか。

■14回まで拡充

関 出産・子育てに対する経済的支援をどのようにしていきますか。
町長 町内に出産のできる医療機関がないので、出産

■行財政改革は

加藤 行財政改革を、今後どのようにすすめていきますか。
町長 行財政運営に関しては、限られた財源や資源を最大限に活用し、町民サービスの提供やまちづくりにあたります。

■産業の振興は

加藤 農業・工業・観光・商業などの振興は非常に重要です。今後どのように推進しますか。
町長 農業では、遊休農地の活用、耕畜連携事業、集落営農の支援など、農家の意見を取り込みながら展開していきます。

■情報発信拠点

加藤 今日まで東京サテライトオフィスの活動で首都圏との連携が生まれ、多くの波及効果につながりました。町長は今後どのように対処しますか。
町長 引き続き白鷹サテライトオフィスを設置し、その活動は企業誘致及び受注活動に限らず、観光や交流といった幅広い分野で、町の情報発信拠点として位置付けていきます。

加藤秀人 議員



加藤 町職員と議員を経験してのまちづくりとは
町長 対話を通して高めあう共創のまちづくり

■対話を通して

加藤 町長は、役場の職員と議員を経験し、町長になられました。その経験を活かし、今後のまちづくりをどのようにすすめるのか伺います。
町長 職員時代は国と県、市町村の置かれている状況を肌で感じ、地域をいい方向に導いていくかは、人脈と信頼関係が重要だと思いました。町議時代もネットワークを大事にし、町民の声を聞きながら、町政に訴えてきたつもりです。

私が考えるまちづくりとは、協働の理念を踏まえ、よりお互いが対話を通して意識を高め合い、創造・発展していくことを目指す「共創のまちづくり」です。



期待される受注拡大

よるリーダーづくりを基本として、今後も地域資源を活かした振興をはかります。
商業では、商工会と連携し意欲ある経営者を支援していきます。

■情報発信拠点

加藤 今日まで東京サテライトオフィスの活動で首都圏との連携が生まれ、多くの波及効果につながりました。町長は今後どのように対処しますか。
町長 引き続き白鷹サテライトオフィスを設置し、その活動は企業誘致及び受注活動に限らず、観光や交流といった幅広い分野で、町の情報発信拠点として位置付けていきます。